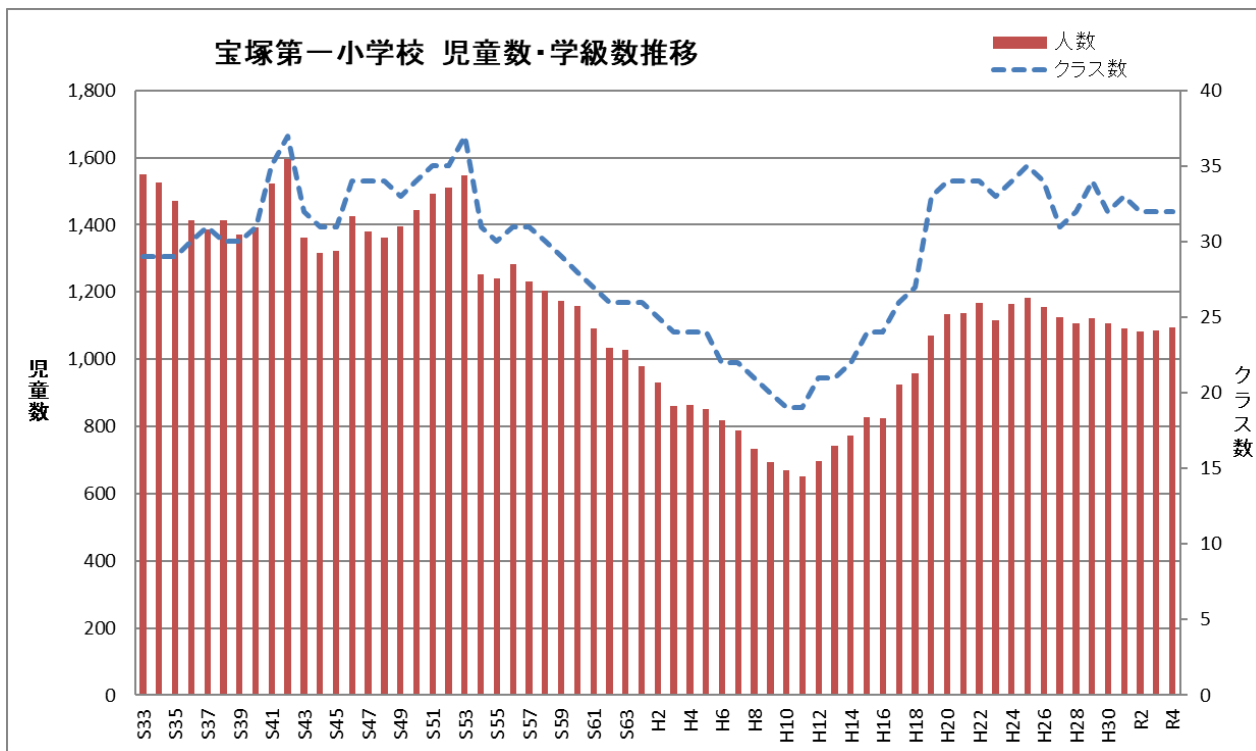


議題（１） 宝塚第一小学校の現状

1 児童数及び学級数の推移



【備考】

- ①昭和 11 年(1936 年) 良元小学校から分離開校
- ②昭和 42 年(1967 年) 最大の児童数を記録 37 学級 1,597 人
- ③昭和 43 年(1968 年) 西山小学校開校に伴う分離 32 学級 1,363 人
- ④昭和 49 年(1974 年) 校舎増築
- ⑤昭和 53 年(1979 年) 二度目のピーク 37 学級 1,352 人
- ⑥昭和 54 年(1979 年) 末広小学校開校に伴う分離
- ⑦昭和 57 年(1982 年) 体育館の新築
- ⑧平成 11 年(1999 年) 児童数は最少の 19 学級 650 人を記録
- ⑨平成 13 年(2001 年) 校舎建替え竣工

※児童数が少なかった時期に設計したため、教室数が不足した。

- ⑩平成 19 年(2007 年) 児童数増加に伴う教室数不足の対策として仮設校舎建設
- ⑪平成 22 年(2010 年) 児童数増加により、校区変更について保護者説明会実施
⇒校区変更案を撤回
- ⑫令和 7 年(2025 年) 宝塚ホテル跡地にマンション建設（竣工）316 戸/638 戸中
- ⑬令和 8 年(2026 年) 宝塚ホテル跡地にマンション建設 322 戸/638 戸中

2 保有教室数

新校舎 22 教室

旧校舎 10 教室

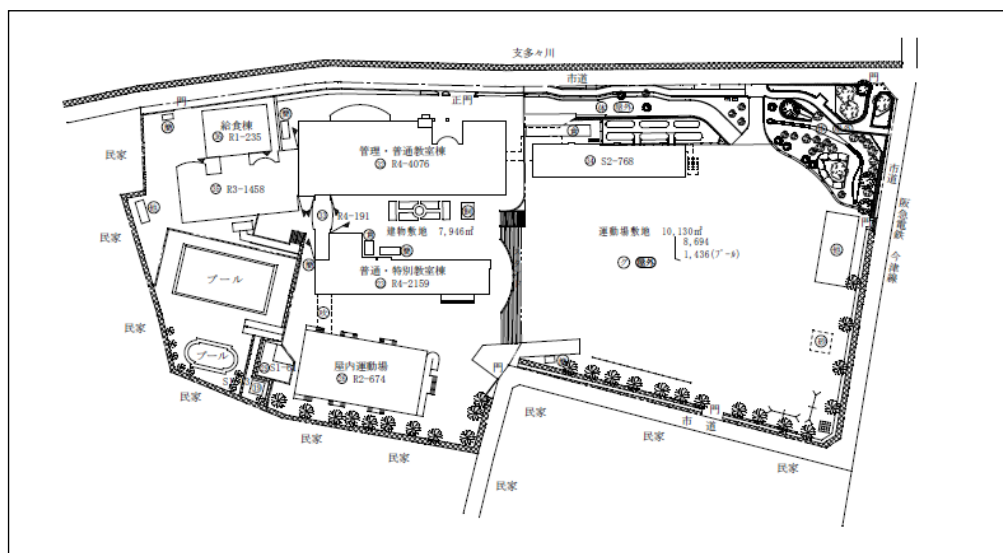
プレハブ 4 教室

特別支援 6 教室 + プレイルーム

多目的コンピュータ室、音楽室、図書室

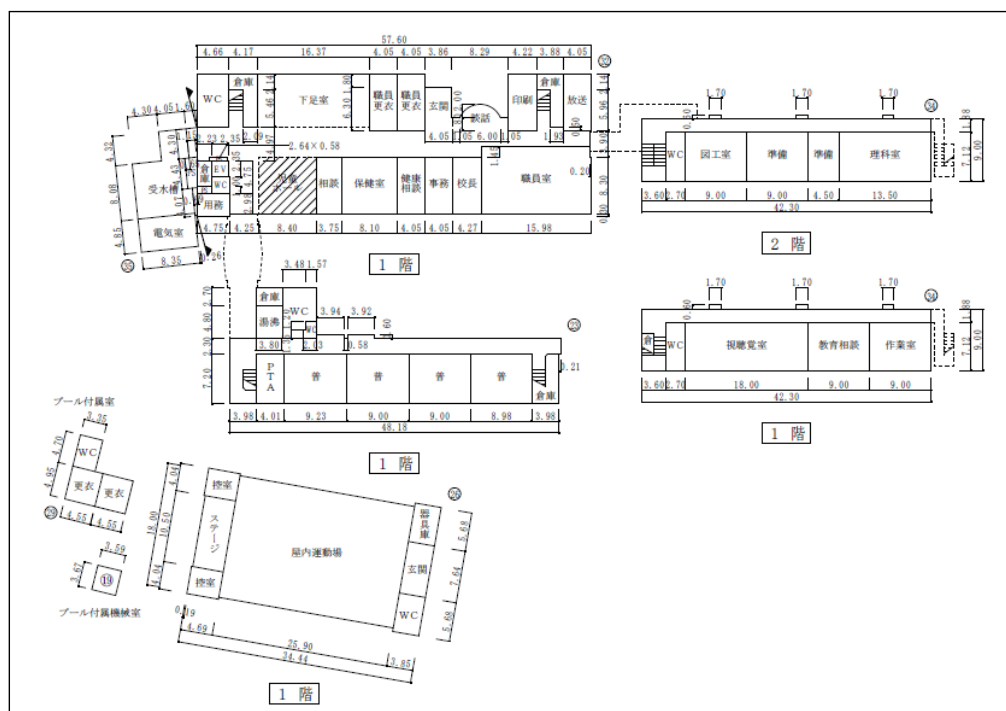
家庭科室、図工室、音楽室

理科室、視聴覚室、

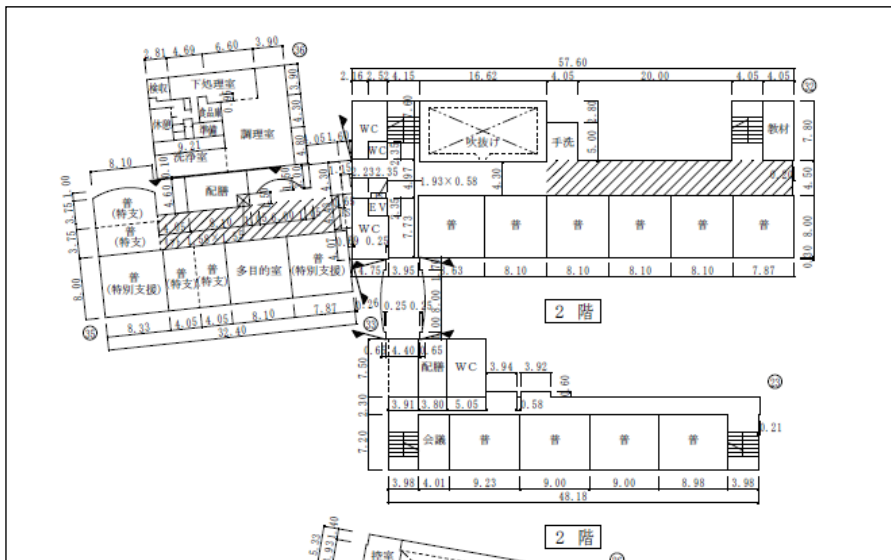


【校地】

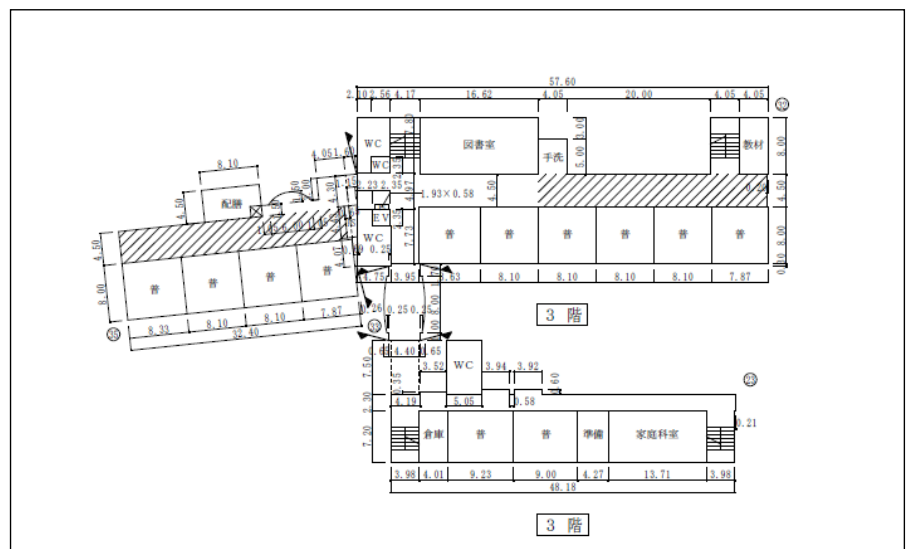
【1 階】



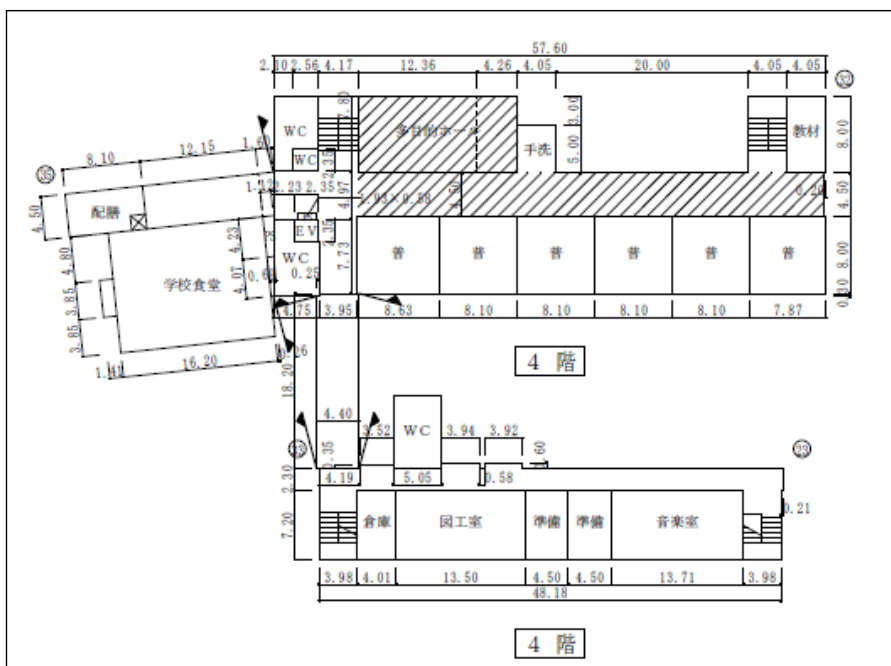
※プレハブ校舎は 2 階を含む



【2階】



【3階】



【4階】

議題（２）宝塚ホテル跡地のマンション建設に係る影響について

１ マンション建設による増加見込み反映なし

学年	R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		R8(2026)		R9(2027)		R10(2028)	
	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl
1	194	6	167	5	179	6	163	5	160	5	143	5	135	4
2	170	5	195	6	168	5	180	6	164	5	161	5	144	5
3	160	5	171	5	196	6	169	5	181	6	165	5	162	5
4	182	6	161	5	172	5	197	6	170	5	182	6	166	5
5	181	5	183	5	162	5	173	5	198	6	171	5	183	6
6	177	5	182	5	184	5	163	5	174	5	199	6	172	5
計	1,064	32	1,059	31	1,061	32	1,045	32	1,047	32	1,021	32	962	30
特支	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6
合計	1,094	38	1,089	37	1,091	38	1,075	38	1,077	38	1,051	38	992	36

※R6 から 5 年生で 35 人学級。R7 から 6 年生で 35 人学級

２ 開発要素を加味した推計（発生率：0.13）

増加年度	集合住宅						入居戸数		発生数					
R7(2025)	旧宝塚ホテル跡地マンション						316 戸		6 人／学年					
R8(2026)	旧宝塚ホテル跡地マンション						322 戸		6 人／学年					
学年	R4(2022)		R5(2023)		R6(2024)		R7(2025)		R8(2026)		R9(2027)		R10(2028)	
	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl
1	194	6	167	5	179	6	169	5	172	5	155	5	147	5
2	170	5	195	6	168	5	186	6	176	6	173	5	156	5
3	160	5	171	5	196	6	175	5	193	6	177	6	174	5
4	182	6	161	5	172	5	203	6	182	6	194	6	178	6
5	181	5	183	5	162	5	179	5	210	6	183	6	195	6
6	177	5	182	5	184	5	169	5	186	6	211	7	184	6
計	1,064	32	1,059	31	1,061	32	1,081	32	1,119	35	1,093	35	1,034	33
特支	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6	30	6
合計	1,094	38	1,089	37	1,091	38	1,111	38	1,149	41	1,123	41	1,064	39

※R6 から 5 年生で 35 人学級。R7 から 6 年生で 35 人学級

議題（３）学校規模適正化の検討（過大規模校における今後の検討）

1 宝塚市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針（抜粋）

① 適正な学校規模

小 学 校 1 2 学級（各学年 2 学級） ～ 2 4 学級（各学年 4 学級）

中 学 校 9 学級（各学年 3 学級） ～ 1 8 学級（各学年 6 学級）

※特別支援学級を除いた学級数

② 適正な学校規模への手法

(ア) 通学区域の変更

対象校が、小規模校又は適正規模校に隣接する場合で、通学区域の変更を行っても双方の学校が適正規模となる場合は、通学区域の変更を検討します。

(イ) 開発地域の通学区域の変更

大規模マンションの開発により、受け入れが困難となることが予測される場合は、事前に開発地域を限定して通学区域を変更し、児童生徒数の抑制を図ります。

(ウ) 通学区域の弾力的運用

児童生徒数の抑制を図るため、保護者の希望により、対象校から、受け入れに余裕のある隣接する学校への就学学校の変更を許可する通学区域の弾力的運用について検討します。

③ 学校規模の適正化の進め方 ～保護者、地域との連携・協力～

～省略～

今後、適正化を進めるに当たっては、該当地域ごとに「(仮称)適正化検討委員会」を設置し、行政の持つ情報を保護者や地域にも公開し、そこに学校関係者も含んで、通学の安全や学校と地域との連携など、学校規模の適正化を進めるための諸課題について、学校・保護者・地域・行政が連携しながら具体的な方策を検討し、協働による教育環境の整備に努めることとします。

【「(仮称)適正化検討委員会」の委員構成例】

P T A・学校評議員・まちづくり協議会・各自治会それぞれの代表、学校長など

2 仮称「宝塚第一小学校学校規模適正化検討委員会」の設置

今後は、まちづくり協議会を中心とする地域（まちづくり協議会、自治会等）、保護者（P T A代表）、地域団体（民生委員、青少年育成市民会議代表等）、学校などで構成する適正化検討委員会を設置し、教育委員会との協働による教育環境の整備を進める。

① 委員選任依頼（各選出団体・教育委員会）

② 会議の日程調整（教育委員会）

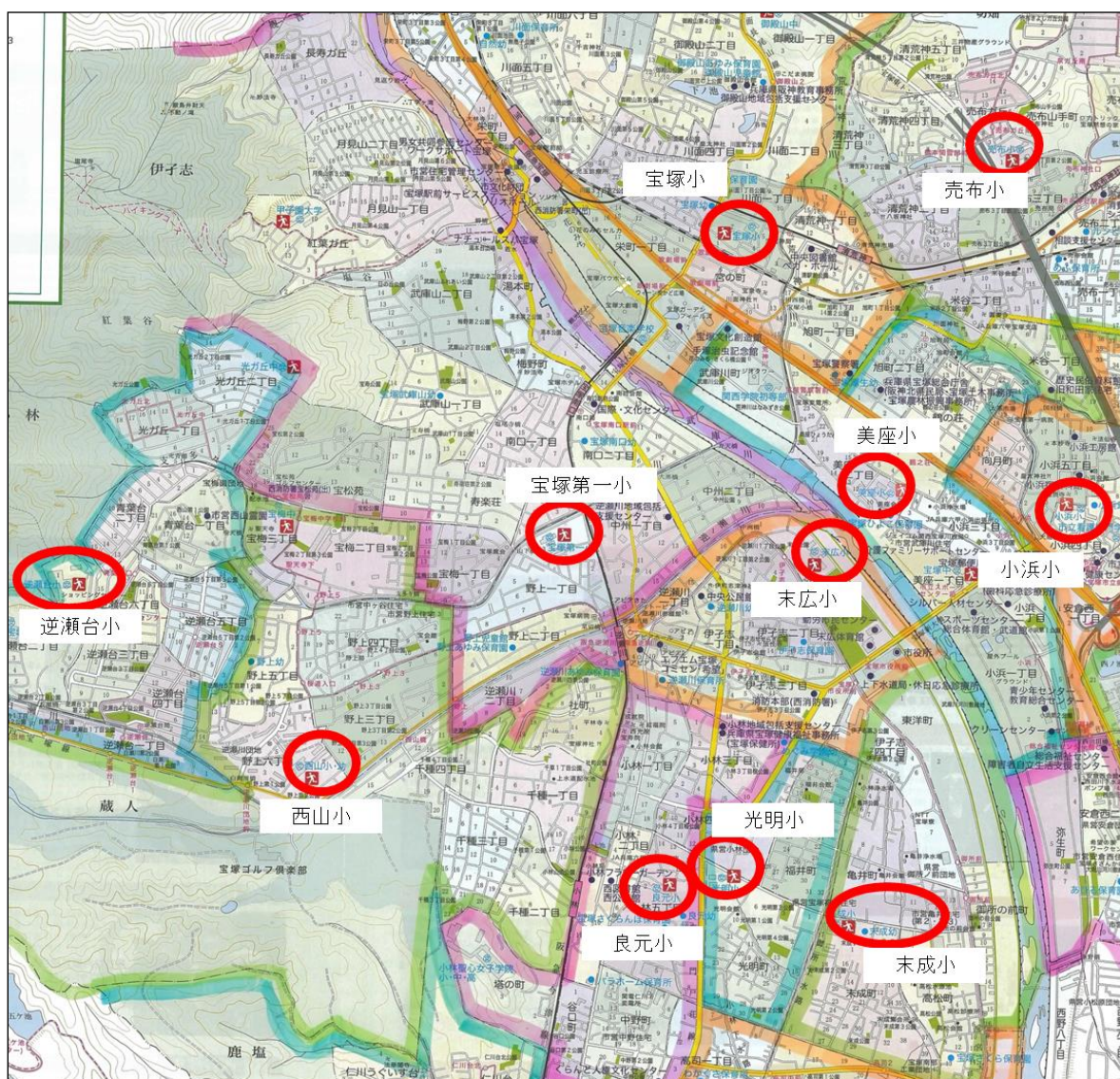
③ 第 1 回適正化検討委員会の開催（会場：学校）

3 参考

(1) 宝塚第一小学校に隣接する学校の規模（令和4年(2022年)5月1日現在）

学年	宝塚第一小		宝塚小		西山小		逆瀬台小		末広小	
	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl	児童数	cl
1	194	6	139	4	100	3	33	1	79	3
2	170	5	120	4	127	4	40	2	39	2
3	160	5	131	4	96	3	46	2	71	3
4	182	6	140	4	110	4	36	2	59	2
5	181	5	125	4	117	3	54	2	71	2
6	177	5	149	4	114	3	54	2	64	2
計	1,064	32	804	24	664	20	263	13	383	14
特支	30	6	35	6	21	5	13	3	10	2
合計	1,094	38	839	30	685	25	276	16	393	16

(2) 宝塚第一小学校周辺校区図



宝塚市「市内べりりマップ」を一部加工して作成